

関東信越厚生局・関東地方整備局
 関東地方更正保護委員会・東京矯正管区 共同開催
令和3年度 第1回地域包括ケア応援セミナー
 関係部局が連携した居住支援の推進
 ～多様な住宅確保要配慮者への支援を見据えて～
アンケート集計結果

日程: 令和3年8月4日(水) 13時00分～16時25分
 開催方法: オンライン開催 (Microsoft Teams)

所属

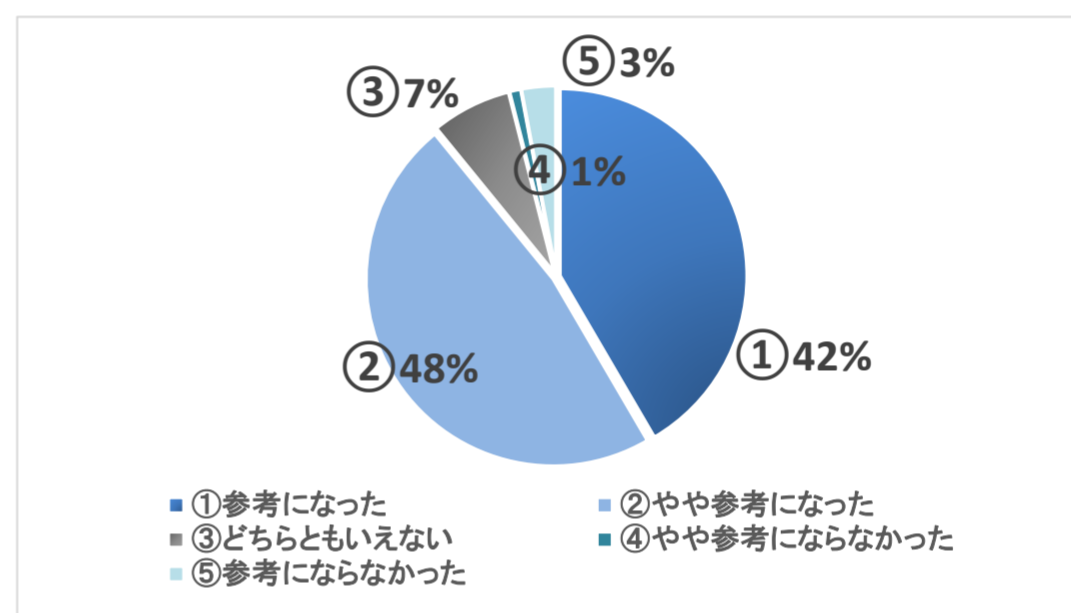
地方公共団体 (都道府県)	地方公共団体 (市区町村)	矯正施設	保護観察所	居住支援法人	社会福祉法人	医療法人	NPO法人	更生保護法人	保護司会	その他	合計
7	13	1	3	4	9	0	4	0	2	13	56

業種

住宅	不動産	福祉(高齢者)	福祉(障害者)	福祉(子ども)	福祉(生活困窮・生活保護)	矯正	更生保護	その他	合計
17	0	10	6	0	7	2	4	10	56

1. I セミナー全体の内容

	実数	%
①参考になった	32	42%
②やや参考になった	22	48%
③どちらともいえない	1	7%
④やや参考にならなかった	1	1%
⑤参考にならなかった	0	3%
合計	56	

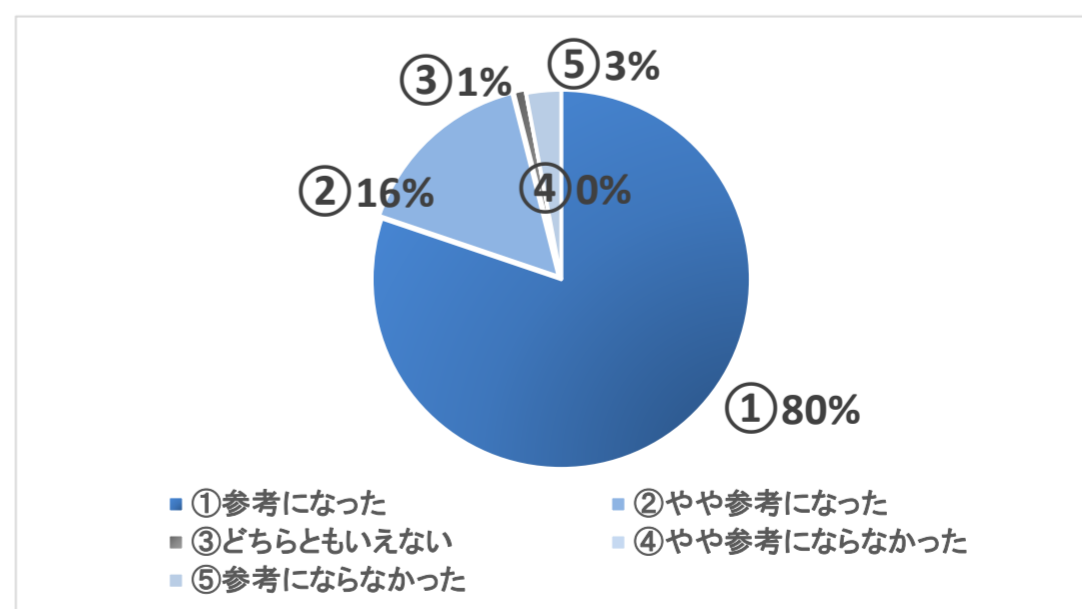


- 自分の業務の範囲ではないところもあるかと思っていたが、講義を聞いてすべてつながっていることに気づかされました。普段は高齢者の支援をしているが、地域で支援をしていく上では、様々な分野のつながりが大事だと改めて感じました。
- 「居住支援」という目的に向かって、関係者がお互いの理解を深めるいい機会であった。縦割りの支援では叶わなかった対象者本人に寄り添った適切な支援に繋がる良いイメージが持てた。
- 昨年度より高齢者、障害者、また年齢を問わず複合的相談を受けており、今回のテーマは大変参考になりました。高齢者や障害者の居住問題の相談は多くあり、またそれに関連した連絡人の問題、経済事情、本人の身体本人の身体状況等や意向も聞きながらの支援となると、多くのスキルと知識が必要です。福祉職でもやはり向き不向きもあるかとは思いますが、本日の講演をしてくださった講師の方々の想いが伝わってきましてモチベーションが上がりました。今後も居住支援の他にも様々な課題についてのこのような機会があると大変ありがたいです。また一人を救う(言い方悪いですが)ことが周りを救う事にもつながっていきますよね。今回参加させて頂きありがとうございます。中身が濃く良かったです。それから司会の方も聞きやすく、よくまとめてくださり助かりました。

1. II 講義の内容について

1. II ① 日大・白川教授

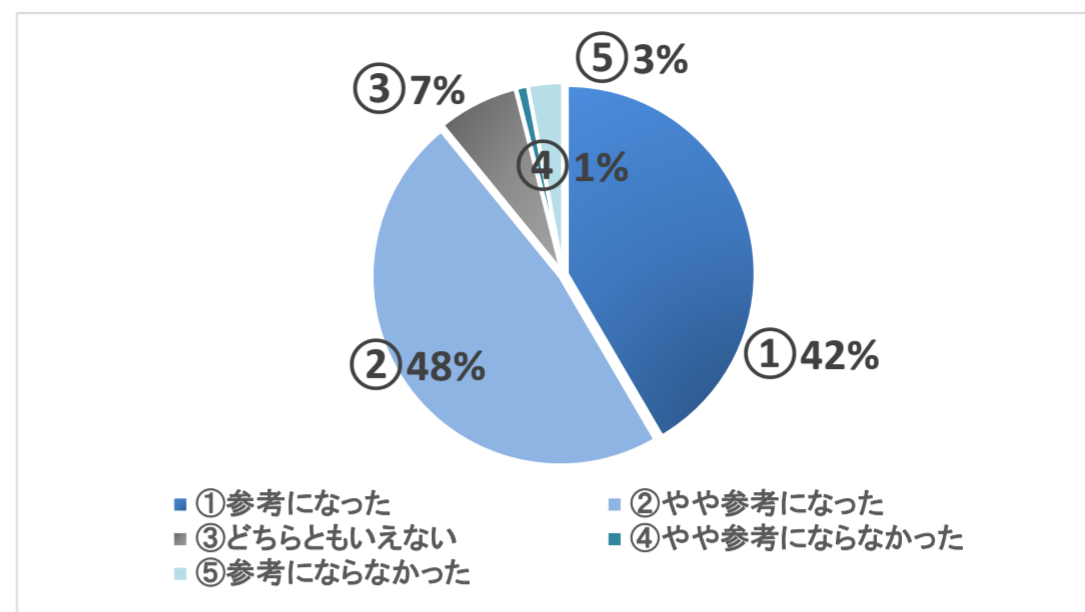
	実数	%
①参考になった	31	80%
②やや参考になった	21	16%
③どちらともいえない	4	1%
④やや参考にならなかった	0	0%
⑤参考にならなかった	0	3%
合計	56	



- 住居関係者と福祉関係者が連携するための考え方が理解できた。
- 属性ごとの課題がわかりやすかった。
入居前から入居後の支援も行うため、住宅・福祉部門の連携が必要と感じた。
- 居住支援を推進するにあたって、住宅部署と福祉部署との連携に関してこれまでなんとなく理解していたつもりでした。しかし、この講演で、改めて連携がなぜ必要かを聞いて、これまでの自分は本質的な部分を理解していなかったことに気づきました。根本的な部分を考え直すという点でとても参考になりました。

1. II ② 住宅整備課長

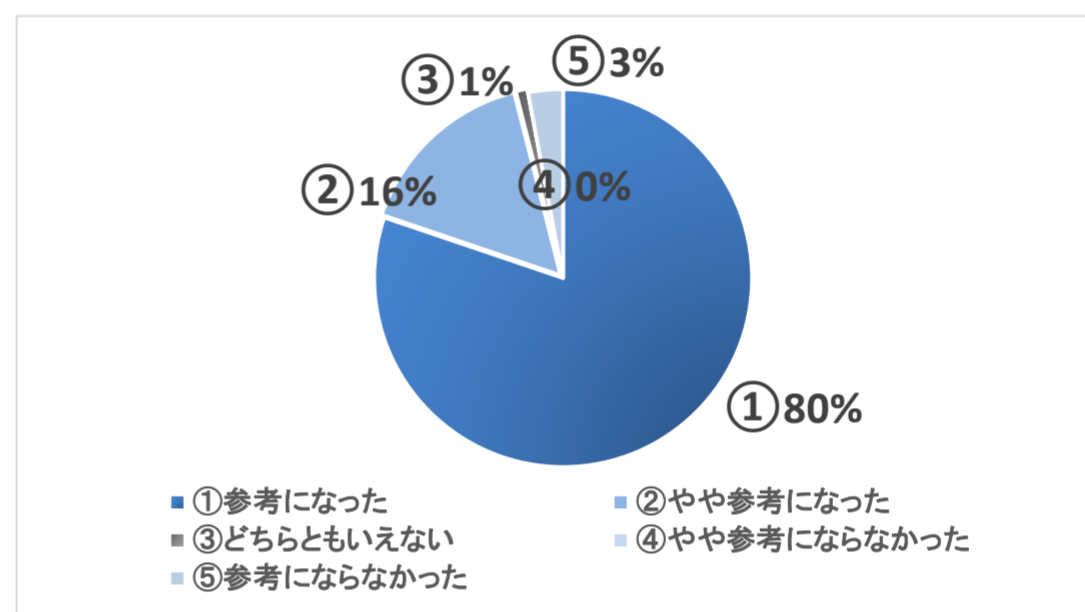
	実数	%
①参考になった	20	42%
②やや参考になった	20	48%
③どちらともいえない	9	7%
④やや参考にならなかった	3	1%
⑤参考にならなかった	4	3%
合計	56	



- 国の支援について整理できた。
- 現状に至る経緯や背景等について、客観的な資料をもとに説明いただき、現状の位置について知ることができた。基本的な前知識として役立つ内容であった。
- 福祉部局等の情報がわかり、より実態を理解できた。

1. II ③ 中野区

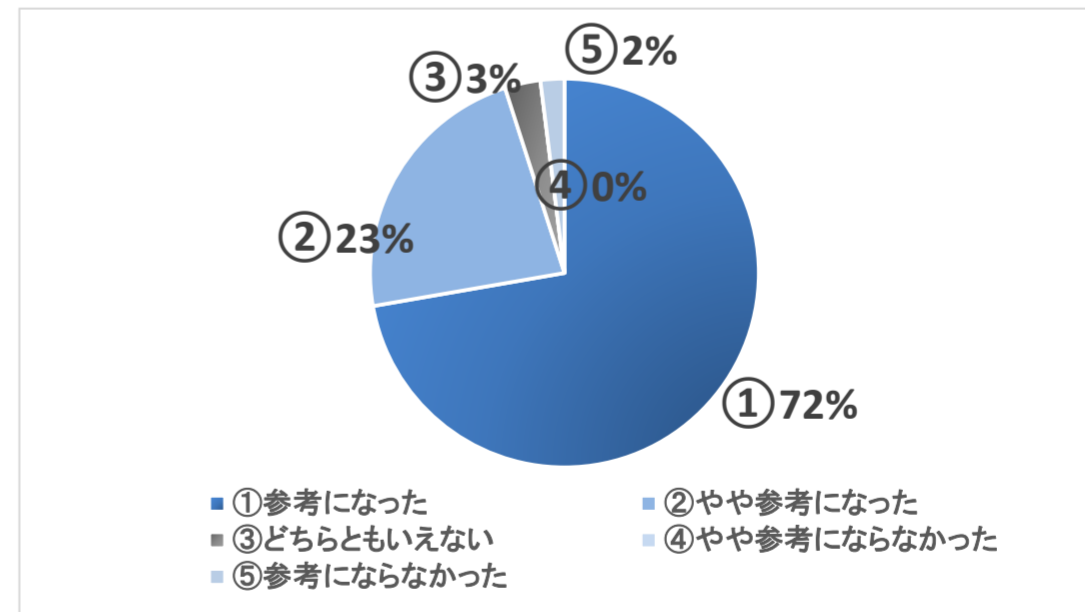
	実数	%
①参考になった	28	80%
②やや参考になった	22	16%
③どちらともいえない	3	1%
④やや参考にならなかった	1	0%
⑤参考にならなかった	2	3%
合計	56	



- 役所内部と地域の方々との協働について、改めて勉強になった。
- 行政内の実情や課題がわかりやすく知ることができた。
- 行政としてどのようにアプローチすればよいのか、という内容が具体的に説明されており、簡潔でわかりやすかった。

1. II ④ ホームネット

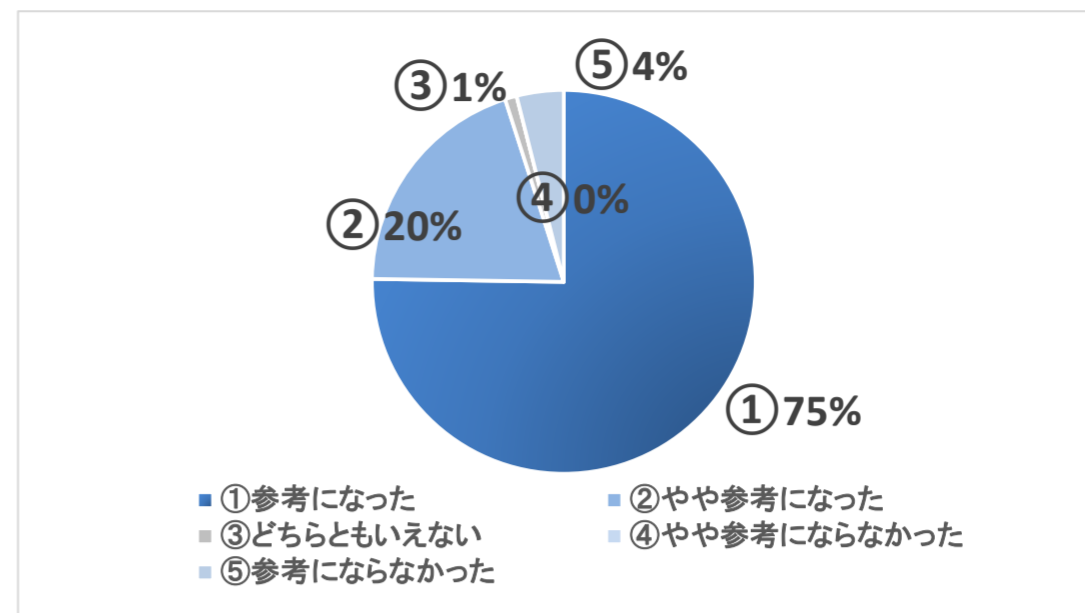
	実数	%
①参考になった	40	72%
②やや参考になった	13	23%
③どちらともいえない	3	3%
④やや参考にならなかった	0	0%
⑤参考にならなかった	0	2%
合計	56	



- 高齢者への居住支援の実態について、細かく教えていただき、参考になりました。不動産事業者等への発信を刊行物などで行ってききましたが、「支援の違い等、不動産事業者はよくわからない」というお話を聞き、もっと周知活動に力を入れる必要があると感じました。
- 実際のオーナーさんが抱える課題など、違う観点から直面する話題を共有していただいたことは、今後の居住支援を進める上での参考に大変なりました。
- 「多くの不動産会社、賃貸オーナーは地域包括支援センターや介護保険制度について知らない」という説明がとても強く印象に残りました。制度や施設は皆知っていて当然という考えはすぐに捨てなければいけない、もっと現場の人々の立場で考えなければならないと思いました。居住支援に限ったことではない、当たり前のことかもしれませんが、非常に重要なことに気づききっかけとなった講演でした。

1. II⑤ パネルディスカッション(第2部)

	実数	%
①参考になった	31	75%
②やや参考になった	18	20%
③どちらともいえない	5	1%
④やや参考にならなかった	1	0%
⑤参考にならなかった	1	4%
合計	56	



- 犯罪ではなく、その人を見るというお話が印象に残りました。つい、犯罪や見た目などに目が行ってしまいます。相談の基本ですね。改めて再確認しました。
- 普段はそれ程かわることはないと思いますが、時々相談があります。高齢者だけでなく、家族の相談があった時にはとても困ります。協力してもらえる法人等があると心強いと思います。一般的なこともあまり知らないなので、勉強していきたいと思います。
- 具体的な事例紹介等あり、お話いただく内容も具体的で、居住支援の過程やその先を想像できた。

2. 今後のテーマや講師の希望

- 居住支援と一言で言っても、対象者が高齢者か、障害者か・・・対象者ごとに支援のしかたやノウハウは変わってくると思います。支援対象者別の居住支援に関するセミナーを受講したいです。(身寄りのない単身高齢者、精神障害者など)
- 今回の講演者や登壇者のバランスが非常に良かったと思いますので、引き続き、このような形で進めていただくと大変参考になります。

3. セミナー全般 今後の期待

- このような関連分野が連携する必要がある分野で、まだあまり知られていない内容については周知・理解が第一歩だと思うので、今後もこのようなセミナーを開催していただきたいと思います。ありがとうございました。
- 住宅と福祉の連携に関して、縦割り構造や根本的な概念の違いからうまく連携できないことを痛感します。国が主導して、住宅部門と福祉部門が繋がりがやすいスキームづくり、雰囲気づくりをしていただきたいです。今回のような横断的連携を意識したセミナーをまた開催してください。